



切らずに治すがん治療

最新鋭機器と専門医による高精度な治療

手術無しで安全にがんを粉碎する 三次元ピンポイント照射!!

相模原協同病院は、平成16年7月に「高精度放射線治療センター」を新設しました。

当センターは、放射線治療装置とCT/X線透視装置などを一体化した特色ある国内最高水準の高精度放射線治療装置施設です。当センターでは、CT等を使ってがんの位置を正確に把握し、病巣に放射線を集中させる「定位放射線照射（三次元ピンポイント照射）」の治療を行っています。病巣に向けて多方向から照射することで、がんを破壊/抑制する力が大幅にアップする一方、正常な組織にかかる放射線を少なくし、従来よりも副作用を大幅に減らせるのが特徴です。高齢者で体力がなく、合併症で手術が難しい患者さまにも「切らずに治す」がん治療を実践しております。従来の方法で6週間以上であった治療期間が、「三次元ピンポイント照射」では、短期間（1日～5日程度）で行えることも大きな特徴です。

この治療方法は3cm以内の脳病変（特に脳転移）および3cm以内の肺がんや肝臓がん（肺転移、肝転移）などに有用であることが知られています。当センターでの脳病変への治療は、入院の必要はありません。

実際に治療を受けた患者さまは「治療の際の痛みはまったくくない。早く終わられてうれしい。」と話されています。



福原 昇 放射線科 部長



一点集中の放射線照射で、ガン細胞を破壊します

前立腺がんに対しても高い精度で放射線治療を行っています。治療期間は約8週間と長いですが、手術よりも安全で副作用が少なく手術と同等の治療成績が期待できます。

また骨転移による痛みで歩くことができなかつた患者さまが「数回の治療で歩けるようになった」との喜びの声もありました。

現在、県内および都内の施設からの紹介が増えており、平成16年度に治療を受けた患者さまは延べ406人です。

当センターで治療を担当する福原 昇医師（放射線科 部長）は、「日本放射線腫瘍学会の認定医（全国で460人）」のなかでも、「日本医学放射線学会専門医」と「日本癌治療学会の臨床試験登録医」の資格を持ったがん治療のエキスパートで、がんを総合的に判断し、適切に治療を行っています。

「これからも副作用が少ない、患者さまにやさしいがん治療を実践していきたい」と福原部長は、治療への意気込みを話しています。

